

# 家畜衛生広報いいだ

長野県飯田家畜保健衛生所  
飯伊家畜畜産物衛生指導協会  
TEL : 0265-53-0439, 0440  
FAX : 0265-53-0441  
E-mail : iidakachiku@pref.nagano.lg.jp  
http://www.pref.nagano.lg.jp/iidakachiku/

H30 (2018) 3.1 発行 2017\_No.12

## 高病原性鳥インフルエンザ対策を引き続きお願いします

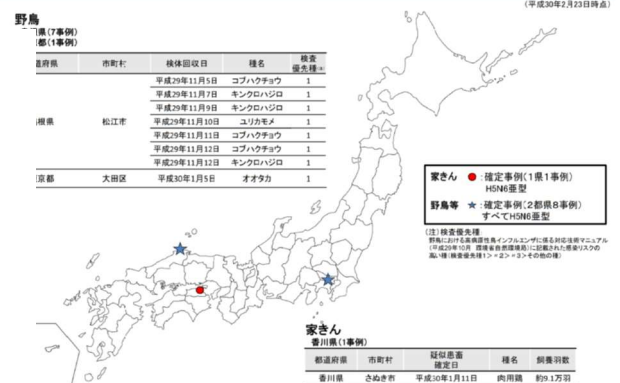
平成29年度の家きんにおける高病原性鳥インフルエンザ発生は、現在のところ香川県での1事例ですが、昨年度には3月下旬に千葉県と宮城県で本病の発生がありました。2～4月頃にかけて日本で越冬したカモ類などの渡り鳥がシベリア等の営巣地に向かうため国内を移動しますので、引き続き本病ウイルスの鶏舎内侵入防止等の対策をお願いします。

### 平成 29 年度の発生状況

区分	H29 年度	H28 年度
家きん	1 県 1 事例※	9 道県 12 事例
野鳥	2 都県 8 事例	22 都道府県 218 事例
分離ウイルスはすべて H5N6 亜型		

※香川県さぬき市 (H30. 1. 11 発生)  
肉用鶏 約 9.1 万羽

国内における高病原性鳥インフルエンザの発生状況 (平成29年11月以降)



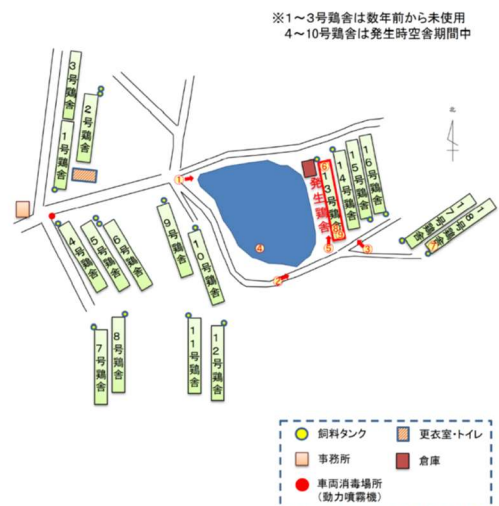
### 香川県の発生農場における疫学調査チーム (農水省) の現地調査概要

- ・発生農場の敷地内にはため池があり、水鳥が飛来していた。
- ・発生鶏舎はため池に最も近い場所に位置していた。
- ・農場では、鶏舎の壁の破損部分補修など野生動物の侵入防止対策を講じていた。
- ・鶏舎に入る際は専用長靴に履き替えるなど衛生対策を実施していた。
- ・発生鶏舎内にネズミのものと思われる糞が認められた。



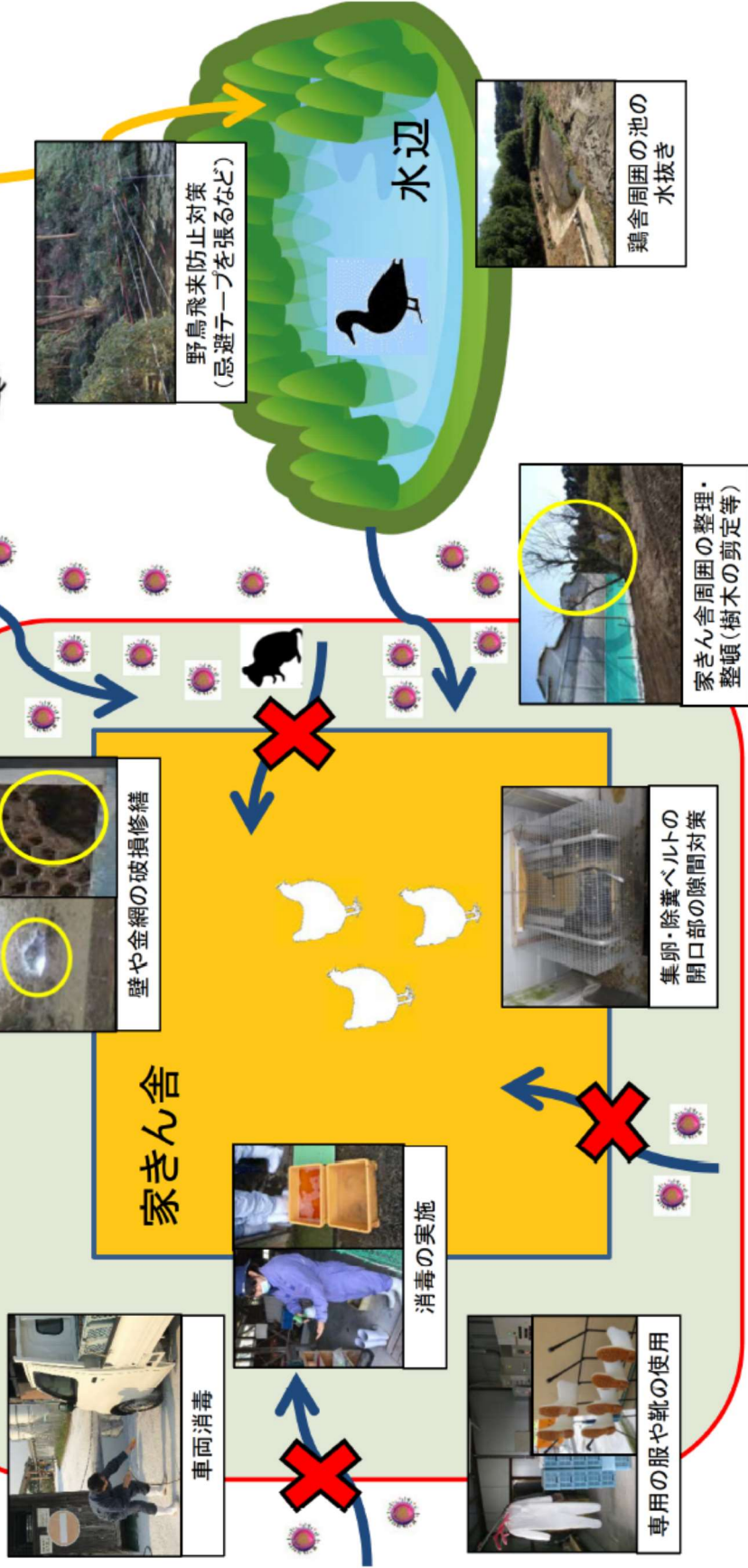
鶏舎への侵入経路は不明ですが、  
**ウイルスが鶏舎周辺に存在し、人・野生動物等何らかの形でウイルスが鶏舎内に侵入した可能性が考えられた。**

【発生農場見取図】



# 予防対策の重要ポイント

## 【衛生管理区域】



- ①人・物・車両によるウイルスの持込み防止
- ・衛生管理区域、家きん舎への出入りの際の洗浄・消毒の徹底
  - ・衛生管理区域専用の衣服、靴、家きん舎ごとの専用の靴の使用
  - ・上記措置の記録

- ②野生動物対策
- ・防鳥ネットの設置・修繕、壁の破損・隙間の修繕
  - ・家きん舎周囲の清掃、整理・整頓
  - ・上記措置の定期点検

周辺に水辺のある農場は  
①、②の予防対策を徹底

リスクを減らす取組(季節を限って水を抜く、野鳥を寄せ付けないよう忌避テープを張るなど)が効果的